



Rotary International
ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心
2007～2008 年度
国際ロータリーテーマ:ウィルフリッド J.ウィルキンソン会長



東京赤坂ロータリークラブ

No.962 / 2007.8.3

例会 / 毎週金曜日12:30
例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111
事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8
赤坂2丁目アネックス3F
Tel 03-3505-5976
Fax 03-3505-6004
akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp
http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「**「上げよう友の輪、分かちあおう喜びを！」**

2007～2008年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／小原健会長

●本日の例会／2007年8月3日 第985回例会

◎卓話『日・タイ修好 120 周年・日本人社会の変容』

株式会社アメリカンサービス特別顧問 八島 宏次 氏
(元タイ大使館領事顧問)

—●先週報告／2007年7月27日 第984回例会—

当クラブ会員

土屋 東一 君 スピーチ



慶事披露:

誕生日 祝 / 田村昭二君
(7月27日)



出席報告:

会員52名 / 出席29名・欠席23名 (出席規定免除者5名)
ビジター / 牧山昭郎 (東京南RC)、品川正信 (東京日本橋RC)
ゲスト / 内海大樹
計2名 (順不同・敬称略)
計1名 (敬称略)



7月27日 / 7件 14,000円 / 本年度累計125,100円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

小原健 / 小笠原伯爵邸すばりしかったです。親睦委員会の皆様ありがとうございました。田村昭二 本日が誕生日です。誕生日祝い有難うございます。又、25日に二人目の男の子の孫が生まれました。清水寛 / 明日から3日間神戸なので期日前投票を済ませました。そのあとで誰それに投票を！というハガキが何通かきましたが。西澤民夫 / 入沢さん御苦労さまです。暑いですね。土屋東一 / 本日、ドタキャンの卓話の代役をいたします。お手やわらかに。橋本年男 / 入沢先生、ニコニコ、ソングリーダー御苦労様です。先日の暑気払い楽しかったです。入沢頼二 / 赤坂ロータリーカルテット、岩上幹事も加わり再開でき嬉しく思います。本日のニコニコありがとうございました。

暑気払いの会

7月24日(火)6時30分より東新宿にあります小笠原邸にての親睦会・暑気払いを行いました。前日までのうっとうしい天気とは打って変わってカラッと真夏の太陽をいただいた夕刻、25名の皆さんをお迎えして行われた今年度最初のイベントです。小倉城主、礼儀作法の小笠原流礼法の総領家の邸宅として1927年建造されました館は、今では東京都の重要文化財に指定され、民間活力により6年前よりブライダルレストランとして甦り、日本では数少ないスパニッシュ様式の由緒ある邸宅で会食を堪能いたしました。小原会長の開催ご挨拶の後、1928年生まれの武下さんの乾杯で幕開け、ひとり一人の自由奔放な発言と、初めてお出でいただいた内田さん令夫人も緊張の中にも皆との会話に弾みをつけて、おおいに楽しんでいただきました。そして、特別ゲストとして旧会員の圓谷さんの参加をいただき、また、吉田克江夫人の一日遅れの誕生祝いを即行で演出するなど、椎名新親睦委員長の今年度の意気込みを感じた暑気払い。場所良し、会場良し、雰囲気良し、食良し、仲間良し、楽しい一日でした。(記:竹本)

参加者 / 荒木昭文、藤井敬一、橋本年男、飯島規之、入沢頼二、石井謙次・喜子、岩上義明・曜子、尾上寛・和美、小原健・栄子、尾関武男、椎名康允、高須康有・貴久代、竹本孝三郎、武下朗、田村昭二、内田憲三・ふみ、吉田用親・克枝、圓谷正和
計25名 (順不同・敬称略)

第2回 クラブ協議会 (先週の続き)

(5. 自由討論)

大日方会員:

千代田グループ内のクラブ例会についてお話しします。当クラブも最初の数年間は、例会前に食前酒が飲めるようになっていました。話をするにも何もないより、ワイン1杯あると話がはずみます。南RCでは、ご存知のように隣に広いスペースを設け30分前から話ができるようになっています。芝RCは朝の9:30から例会場をあけており、バーカウンターは11時から利用できるようになっています。新橋RCも歓談できるスペースをとり、例会前に話ができるようになっています。レインボーは通常例会が夜間例会であります。きっちり1時間で終わります。例会後自由参加でバーに行くようになっています。当クラブも月に1回など夜間例会を行うようであれば時間は延ばさず、例会終了後に37Fのバーに行くなど、歓談の場がとれるよう工夫を凝らすといいと思います。

藤井会員:

例会はフェイス TO フェイスが基本ですが、将来的には事前情

報などをITで提供できればと思っています。主旨は違うのですが、何かご協力できる形を考えていければと思っています。

高須会員：

例会の時間帯のお話ですが、昼間だから例会に出席できるという方も多いのでは、と思います。食事の件は大阪RCなど人数の多いところでは、来た方から食事をとるといった方法をとっているようです。ただ、だんだん省略化しすぎるのもどうなのかなと思います。会う回数が減ると、コミュニケーションの場も減り、火曜会があるとはいえ、火曜会の出席者も固定化している面もあるため、新しい方(新会員)には、回数を減らすことで逆効果もあるのではないかなと思う。また、気になるのは、例会がスタートしてから30分間で、委員会報告、幹事報告などがあり、それが多くなると(卓話まで数分しかないため)歓談の時間がなくなります。それは何とかしなくてはと思う。委員会報告などの時に、私語が聞こえたりしますが、これは大変失礼なことでもあります。コミュニケーションも大事ですが、例会として失礼のない形でなくてはならないと感じています。

西沢(正)会員：

我がクラブの例会は良い例会だと思いますが、多少工夫するとしたら、ブッフスタイルを入れるというのはどうだろうか。コミュニケーションもとやすくなる。夜間例会もイベントをやるのではなく、ただ夜の時間帯にもっていくというのいいと思います。

清水会員：

この会場でやる以上は、週1回月4回のペースで、その内1回は夜間例会やブッフスタイルにして、コミュニケーションを図る形が良いと思います。このホテルは立地条件が良いため、ゲストの方(メイクアップの方)が多くいらっしゃいます。そのため、夜間例会も公な形で知らせたほうがいいと思います。高輪RCは夜間例会ですが、正式に承認された形で行っております。例会が充実していれば退会は防げるという話もあります。これは親睦も深まり親しい方がいることがキーなのだと思います。例会中は話ができないという点については、どうにかしていかなくてはと感じます。

武下会員：

ロータリーを改革しようとなると、必ず怠ける方向にいく。例会の回数を減らそう、委員会も減らそうとなる。委員長になったとき勉強しようという気になるのであって、それがなくなったら勉強しなくなってしまいます。改革といわれているなかに、増やそうというのはなくて、減らそうというものばかりである。増やそうという改革があったとしても、例えばメイクアップを増やそうなど、怠けようという風に走っている。ですから、例会頻度を減らすことは、審議会でもそう簡単には決めていかないと思う。親睦を深めるということは、お会いしなかったら成り立たないのではないかなと思っています。そういう意味では、小原会長が今日は面白い格好をしてきている、とか、面白いことがあったほうがいいのですが、そういうかたちで面白くしてください。

竹本会員：

回数の件ですが、毎週やっていくことでリズムをもってきておりますが、仮に月2回になった場合、1回欠席すると月に1度しかお会いできないということになる。なおかつ、小原会長いわく「この年になって、親しくできる友人をつくる場というのは少ない」ということからすると、例会をより有効に使っていくためには、30分前に会場にきて親睦を図る、懇談をするというのは、非常に有意義な時間だと思います。しかし、先ほどのSAA、親睦、プログラム委員会からのお話を聞くと、皆様見えないうちで集まり、魅力ある会を運営するために、今年1年のスケジュール、プログラム、予定をたてるために、週1度の例会のときの打合せが、非常に密度が濃くなります。そうすると、プライベートな会話を楽しみにしている状況ではなく、普段の友好関係を膨らませるよりも運営の方が大切ですから、そのように友好を深めるよりも運営のため話し合いの場といった感じがします。そうなってくると、火曜会は時間の有効利用がされていると思います。また、月に1度くらいは

レインボーさんがやっているような、夜の1時間かっちりの例会と、その後のフリータイムで、親睦の時間を設けられるとベターかなと考えております。

岩上幹事：

今までのお話から、夜間例会はできるかなと、カレーの日だけ早めに食事をするというのも出来るような気がします。できることから少しずつやっていければと思います。

飯島会員：

私は週1回の例会は、習慣性がついているため減らさないほうがいいと思います。火曜会については、平均出席が15名であるので、出席人数を増やす方向にしていければいいのではと思います。

尾上会員：

将来の例会については、皆様がいかに例会に出席できるかという方法論であると思います。その中の1つとして、例会の数、夜間例会をやるということですが、いろいろと方法論があるにしても、本質的には地道なもの、例えばプログラム委員会の練ったプログラムとか、SAAのカロリー計算とか、親睦の出でこない人のホローなど、地道にやっていくことがより出席率が上がり、それが理想の例会になっていくのではないかなと思っています。先ほど火曜会の話がでましたが、これは年に10回やっておりまして、比較的卓話的な部分が多いのですが、これをコミュニケーションの場にもっていければ、よりよい火曜会ができあがってくるのかなと思います。

6. まとめ・閉会挨拶

四分一副会長

大勢のご意見ありがとうございます。参考にさせていただき、より良い例会運営をさせていただきたいと思います。規定審議会からの提案で、2013年まで例会を減らしてもいいよ、というモデルケースでやっているクラブもあるようですが、我々のクラブからのご意見を伺っていると、やはり例会として毎週あるほうがいいという意見もあり、確かに習慣性も大事だなということも感じました。それから、例会場に早く来たほうがいいかな、とも感じました。ロータリーの根幹は例会ですので、少しでも来るのが楽しみになるというようにしていきたいと思いました。

7. 閉会の言葉

小原会長

ありがとうございます。月に2回にしたほうがいいという意見はありませんでしたね。ただ、週1回はいいが、月に1回は夜間にするとか、ブッフスタイルにするのは、やってみていいのではないかな、毎回毎回同じなのでもいいが、工夫をしているところもあるから、少し工夫をしてコミュニケーションを図れるようにしたらどうかとか、バーカウンターが前はあったから、また設けて、12時くらいにきて懇談できる場あってもいいのではないかなど、いろいろなもち方があったと思います。固定的に考えず、いろいろバラ



エティーのあるやり方をやってみて、より来て楽しい、楽しいからまた来るといった連鎖になるような会に今年はやっていければと思います。今日は、長い間貴重なご意見ありがとうございました。

●次週予告／2007年8月10日 第986回例会

『世界の医療文化比較』

ジェイアイ傷害火災保険株式会社担当部長 酒井 悦嗣氏
(紹介者 松永秀和君)